

ナチュレ


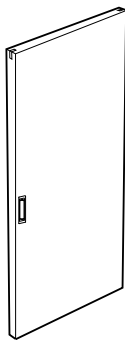

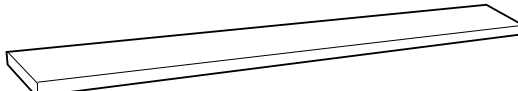
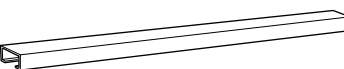

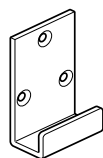
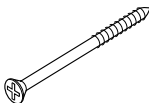
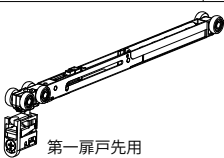

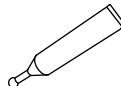

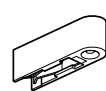



AK NATURE 内装ハンガー引戸ユニット

2連引込・3連引込

このたびは、A B E K O G Y O 製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

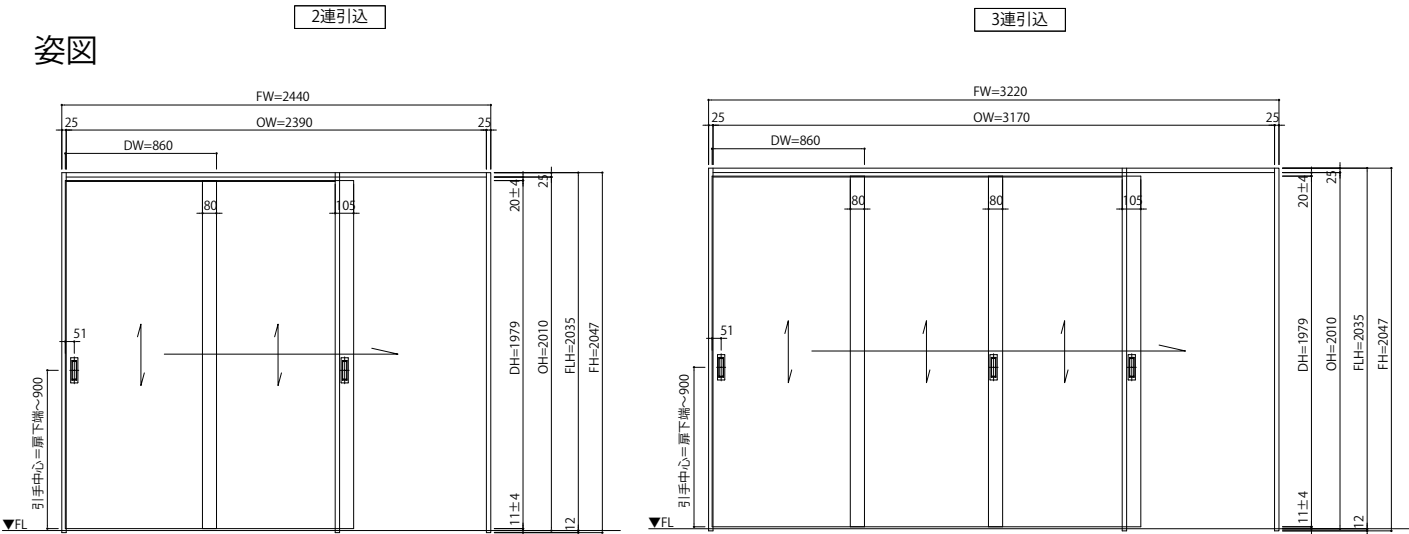
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉 梱 包			枠 梱 包							
扉本体	2連	3連	上枠	2連	3連					
	2	3								
			縦枠 (カバー付)	1	1					
ハンガーレール	2連	3連	戸当枠	1	1					
	2	3								
			方立枠	1	1					
部 品 梱 包										
ソフトクローズ付吊車 戸尻用吊車	2連	3連	ガイドピース	2連	3連		枠組立ビス 躯体取付ビス	2連	3連	 (3.4×60mm)
	1	1		1	2			6 16	4 13	
 第一扉戸先用			床付ガイド	1	1		接着剤	1	1	
 戸尻用										
受け金具 板バネ	2連	3連	エンドクッション	4	6		ビスキャップ	8	-	
	各1	各1								
 (低頭T.P 4×16mm 2本)			 (バインドT.P 4×16mm 1本)							

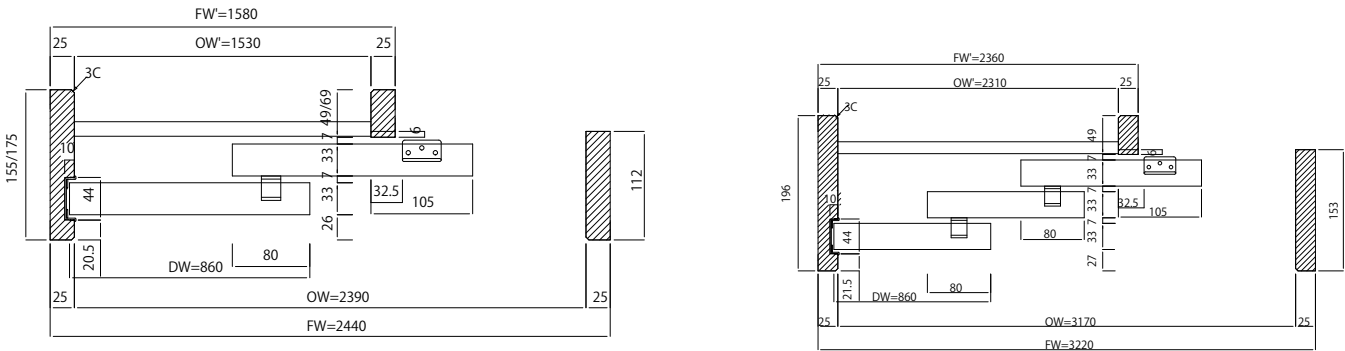
スタンダード(固定枠)		
サイズ	FW	FH
2連引込	2440	2047
3連引込	3220	

《納まり図》

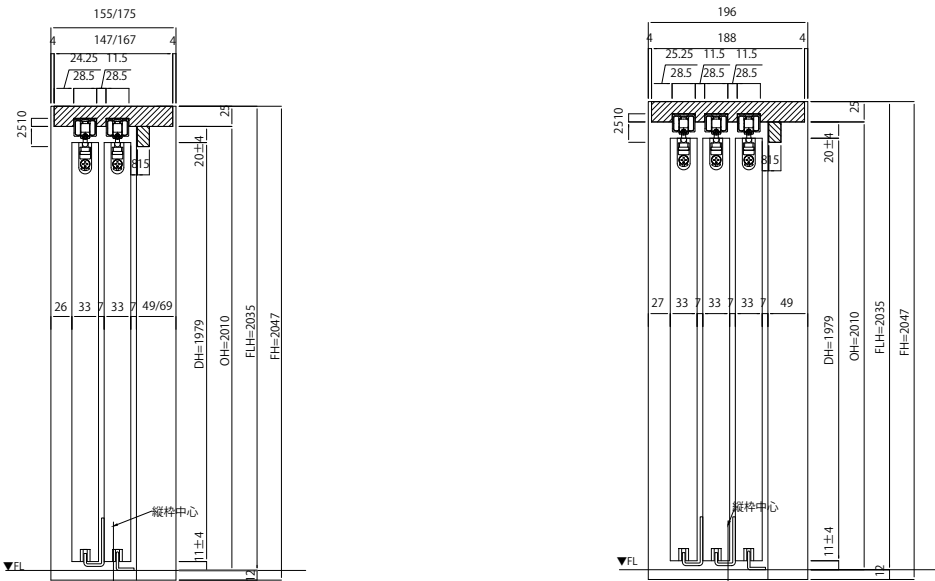
姿図



横断面図



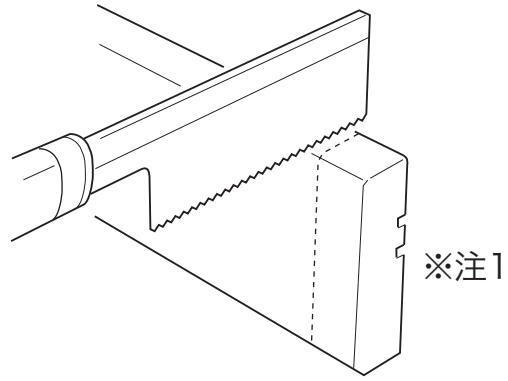
縦断面図



取付け順

1. 枠の組立て

- ①縦枠は、長めに設定してあります。
ご希望の現場施工に合わせて下端をカットしてください。



※注1

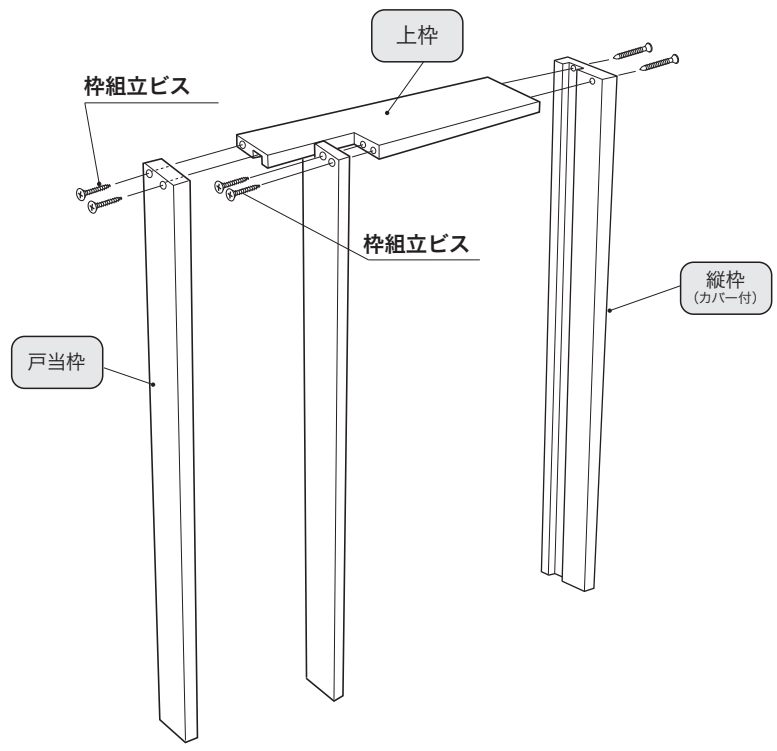
【1】12mm床埋め込みの場合

12mm

【2】フロア直置きの場合

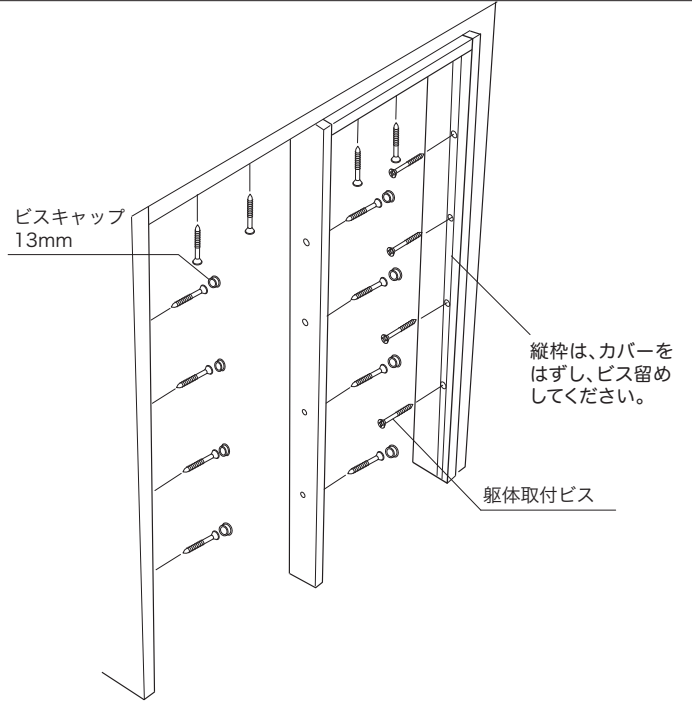
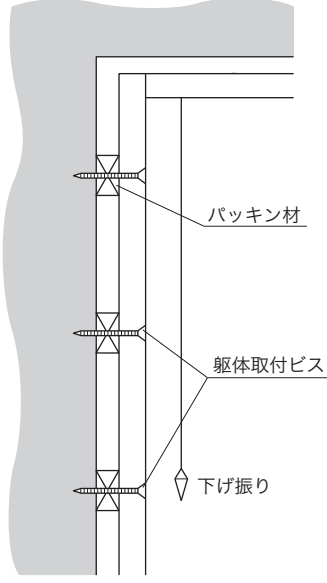
12mmカットしてお使いください

- ②縦枠及び戸当枠と上枠を、枠組立ビスで締め付けてください。



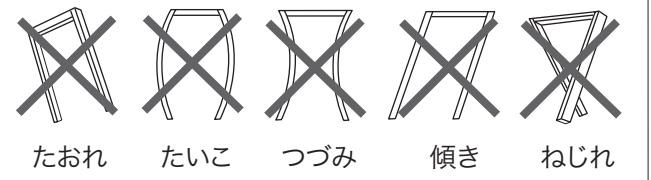
2. 枠の取付け

- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
②枠を開口部に挿入し、下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。



- ③上枠・縦枠・戸当枠・方立枠を躯体取付ビスで開口部に固定してください。必要に応じてパッキン材を併用してください。
④固定の後、方立枠や戸当枠の取付け穴にキャップを挿入してください。
⑤はずした縦枠のカバーを接着剤で固定してください。

※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



3. 部品の取付け

- ①上レールに吊車を挿入してください。
※レールの固定は皿ビスにて固定し、上ローラーと干渉しないことを確認してください。

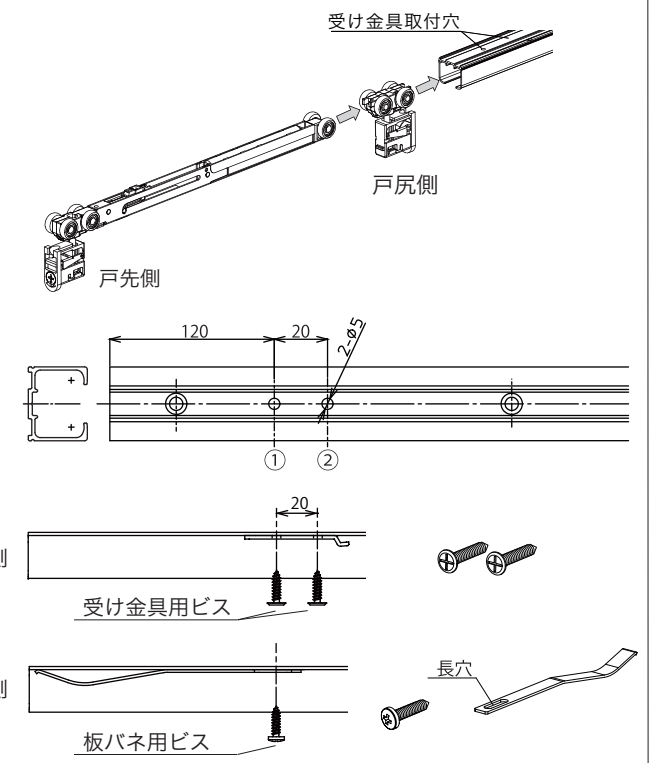
注意 吊車の挿入する向きに注意してください。

- ②受け金具、板バネを取り付けてください。
図のようにレールの下から取り付けてください。
取付けには付属のビスを使用してください。

<受け金具の取付け>
戸先の穴の位置に合わせて取り付けてください。

<板バネの取付け>
戸尻の穴の位置に合わせて取り付けてください。

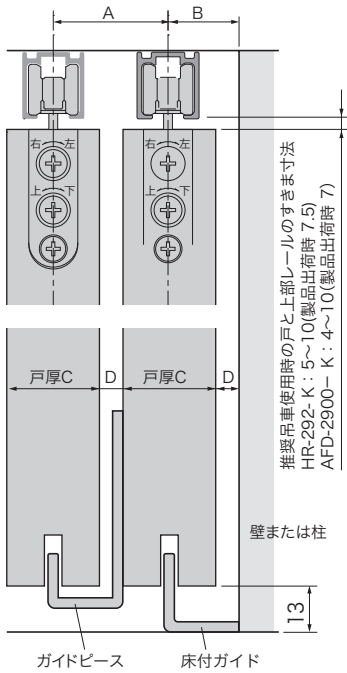
※板バネは長穴で位置を調節できます。
固定ビスを緩めて位置調整を行なってください。
縦枠と板バネの距離を離すとブレーキの効きが強くなります。



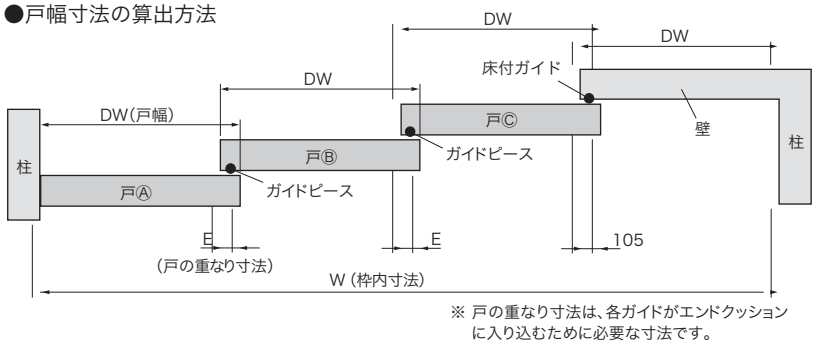
4. 扉部品の取付け

《金具の納まり参考図》

●上下および側面の納まり寸法



●戸幅寸法の算出方法



戸幅 DW =
$$\frac{\text{枠内寸法} W + \{ (\text{戸の枚数} - 1) \times \text{戸の重なり代} E + 105 \}}{\text{戸の枚数} + 1}$$

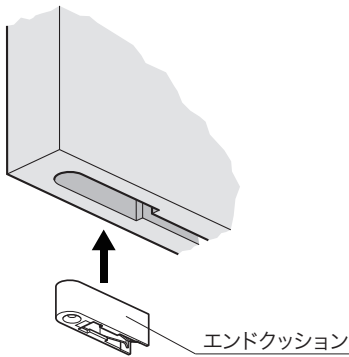
	A	B	戸厚C	D	E
ガイドピース	40	23.5	33	7	80

ご 注 意

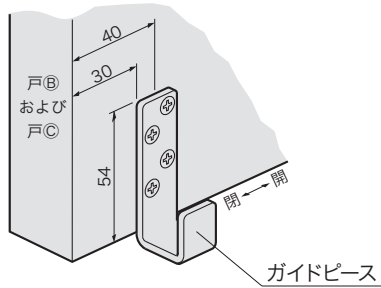
- 正常に引戸を連動させるために、床と戸のスキマは13mmになるようにしてください。
- 吊車の上下調整を行う際に、ガイドピースが戸や床に接触しないようにしてください。
- また、床付ガイドと戸が接触しないようにしてください。
- 幅1に対する高さの比率が5を超える引戸を使用して連動させた場合、動作が不安定になる場合があります。

《金具の取付け》

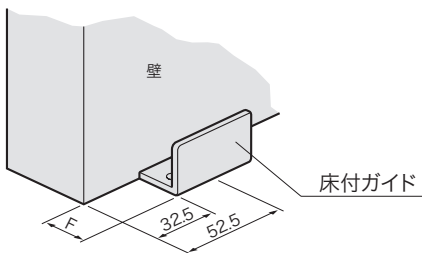
- ① 扉の下部両端の溝にエンドクッションを取り付けてください。



- ② 右図を参考にガイドピースを取り付けてください。



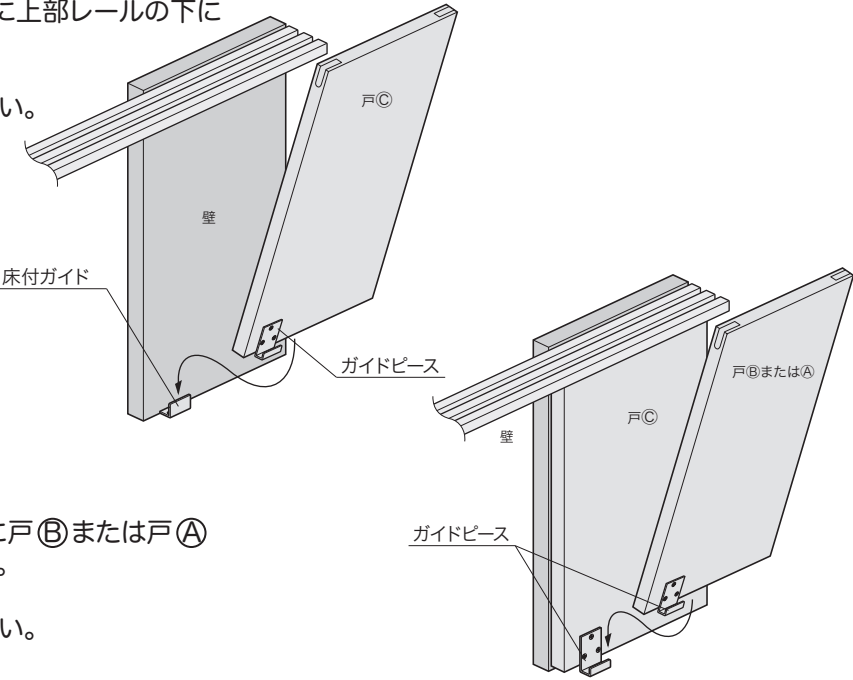
- ③ 右図を参考に床付ガイドを取り付けてください。



5. 扉の吊込み

- ① 戸 ㉔ の下部溝を床付ガイドに被せるように上部レールの下に設置してください。

- ② 戸とレール内の上部吊車を接続してください。



- ③ 戸 ㉔ 先端に取り付けてあるガイドピースに戸 ㉔ または ㉔ の下部溝を被せるように設置してください。

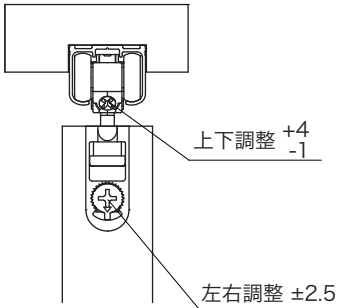
- ④ 戸とレール内の上部吊車を接続してください。

6. 建付け調整

- ① 吊車で、扉の上下・左右調整ができます。

吊車の小口からプラスドライバで建付け調整ができます。

注意 調整範囲以上回さないでください。破損の原因となります。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
- 養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。

※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。